

日本から提案した山原海丘・山原海穴が国際的に登録されました

— 沖縄本島北部の地名に因んだ海底地形名称が国際的に承認・登録されました —

世界の海底地形名の統一を図っているGEBCO/海底地形名小委員会(SCUFN)が開催され、日本から提案した山原海丘や山原海穴などの海底地形名称が国際的に承認・登録されました。

GEBCO(General Bathymetric Chart of the Oceans:大洋水深総図)は、全世界を均質にカバーする海底地形図で、国際水路機関(IHO)とユネスコ政府間海洋学委員会(IOC)が共同で作成しています。

GEBCOはモナコ公国大公アルベール I 世の提唱により1904年に作製されました。GEBCOの作成には、世界の海底地形名の統一を図るために海底地形名小委員会(SCUFN)を設け、各国から提案された海底地形名について年1回審議しています。この度、第25回海底地形名小委員会が10月23日から27日までニュージーランドのウェリントンで開催され、世界各国から提案された海底地形名が審議されました。日本からも同小委員会の委員である海上保安庁職員を派遣するとともに、海底地形名14件を提案し、その全てが国際的に承認され、IHO/IOC海底地名集に登録されました。

ちなみに、山原海丘・山原海穴付近で国際的に登録されている海底地形名称は沖縄トラフだけです。



やんばる かいきゅう

山原海丘 (Yanbaru Knoll)

位置: 東シナ海、沖縄島の北西方約100km

規模: 南北約3km, 東西約3km

最大水深1,285m

最小水深533m

比高752m

提案者: 熊本大学

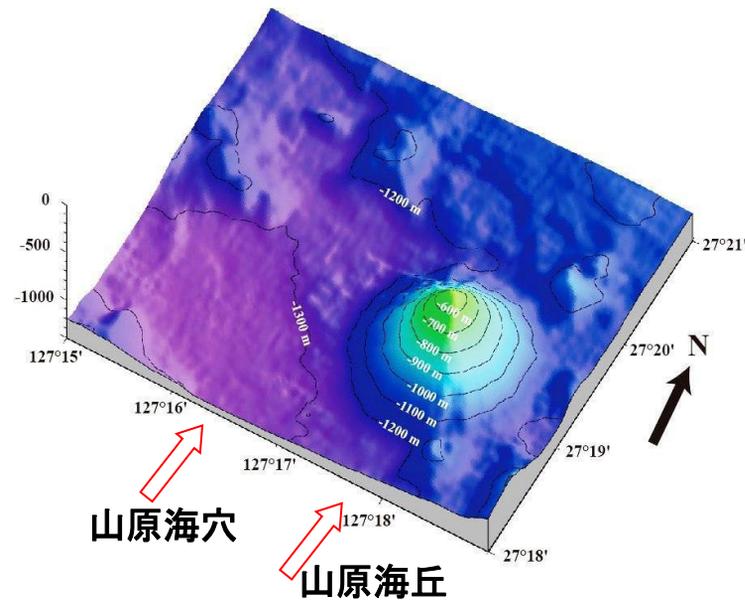
<名前の由来>

沖縄島北部を指す「山原」に由来します。

比較

竹富島: 南北約3km (ほぼ同じ)

与那覇岳: 標高503m (約1.5倍)



やんばる かいけつ

山原海穴 (Yanbaru Hole)

位置: 東シナ海、沖縄島の北西方約100km

規模: 南北約4km, 東西約4km

最大水深1,308m

最小水深1,204m

比高104m

提案者: 熊本大学

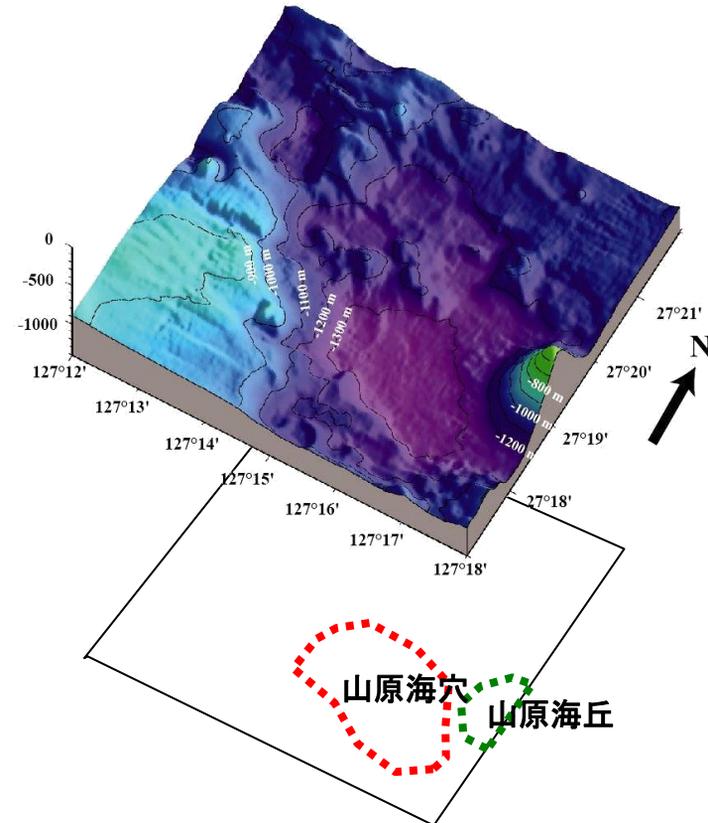
<名前の由来>

沖縄島北部を指す「山原」に由来します。

比較

古宇利島: 南北約2km (約2倍)

琵琶湖: 最大水深103m



用語の説明

海丘【かいきゅう】

海底の高まり。一般に麓から山頂までの高さが1000m 未満の場合は海丘、麓から山頂までの高さが1000m 以上の場合は海山(かいざん)と呼ばれています。

海穴【かいけつ】

海底の窪地。周辺より比較的低い盆地状の地域をいいます。

